

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の目的
 - 2.2. 前提条件
 - 2.3. 対象読者
 - 2.4. スタンドアローン構成 と 分散構成
 - 2.5. IM-PDFCoordinator for Accel Platform のエディション
 - 2.6. 用語解説
- 3. インストール前に
 - 3.1. 必要なライセンス
 - 3.2. インストール前に必要な確認事項
 - 3.3. 正常に動作しない環境
 - 3.4. 注意事項
- 4. セットアップの流れ
- 5. ミドルウェアのセットアップ
- 6. インストール・環境設定
 - 6.1. PDFメイクアップのセットアップ
 - 6.2. WARファイルの作成
 - 6.3. 環境変数の確認
 - 6.4. セキュリティ機能 (Security) の閲覧制限機能を使用する場合
- 7. ミドルウェア製品の起動・停止
- 8. デプロイ
- 9. テナント環境セットアップ
- 10. ライセンスの登録
- 11. アップデート・パッチの適用・モジュール構成の変更
 - 11.1. アップデート
 - 11.2. パッチ
 - 11.3. モジュール構成の変更
- 12. アンインストール
 - 12.1. 作業前に...
 - 12.2. IM-PDFCoordinator for Accel Platform の削除
 - 12.3. Windows の場合
 - 12.4. Linux の場合
- 13. 【補足】 intra-mart e Builder for Accel Platform との連携方法
 - 13.1. 環境構築手順
 - 13.2. intra-mart e Builder for Accel Platform 用の環境変数設定
- 14. 付録
 - 14.1. 連携エンジンバージョン
 - 14.2. フォント設定

Windows / Linux 共通

フォント埋め込み設定

フォントの埋め込みは、次のテキスト（オブジェクト）の追記処理にて行い

- ウォーターマーク
- テキスト
- IODファイル（固定文字列）
- ページ番号

Windows でのフォント埋め込み設定のデフォルトは「無効」、Linux はテキストの追記処理を行う場合は、設定を「有効」にしてください。

埋め込み可能なフォントは、次の通りです。

● Windows

OSに登録されている全てのフォントを埋め込むことが可能です。

● Linux

< %PDFMAKEUP_HOME% /etc/fonts/pfont.txt >に設定されていることが可能です。

上記設定ファイルには、デフォルトとして IPAフォント が設定されています。デフォルトのIPAゴシックは、数字の「0(ゼロ)」に斜線が入っているります。

斜線が入っていない旧版のIPAゴシックを使用したい場合は、「IPAフを参照してください。

また、IPAフォント 以外のフォントを使用したい場合は、「フォントください。

フォント埋め込みの変更

フォント埋め込み設定の変更手順を示します。



注意

フォント埋め込み設定を変更しない場合、手順は不要です。

1. テキストエディタで、< %PDFMAKEUP_HOME% /etc/makeup.tx
2. 次のように < fontembed >の値を設定し、上書き保存します。

```
fontembed=1
```

設定可能な値は、次の通りです。省略時は「0」となります。

値	説明
0	フォント埋め込みをしません。
1	フォント埋め込み可能なフォントを全て埋め込みます。

フォント埋め込みの確認

フォント埋め込みの確認手順を示します。



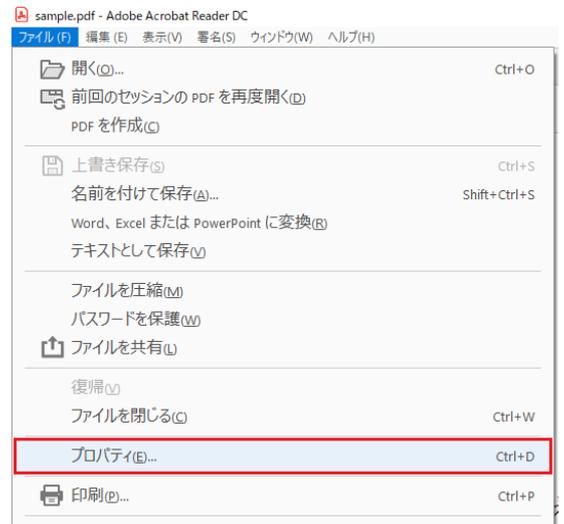
注意

フォント埋め込みを行わない場合、手順は不要です。

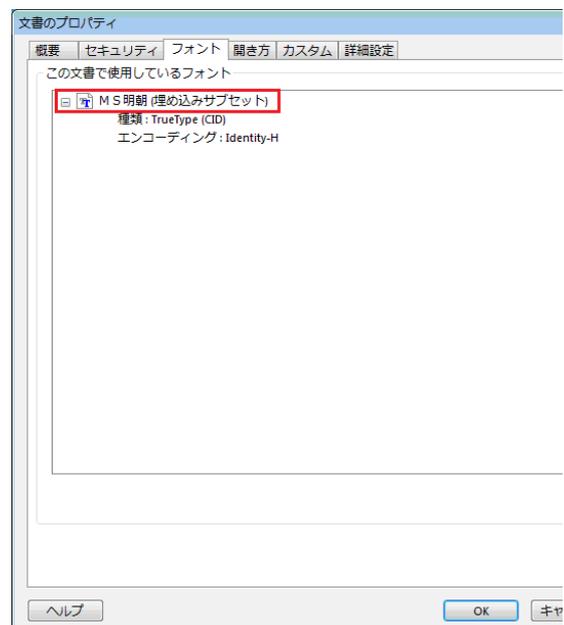
1. フォントを埋め込んだPDFファイルを Adobe Acrobat Reader で開く - 「プロパティ」をクリックします。

改訂情報

変更年月日	変更内容
2013-10-11	初版
2014-04-01	第2版 下記を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none"> ドキュメント全般 Windows Server 2012 向けの記述を追加
2015-07-01	第3版 下記を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none"> 設定ファイルの編集の記述を追加
2016-08-01	第4版 下記を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none"> 「【補足】 intra-mart e Builder for Accel Platform との連携方法」の記述を追加
2016-12-01	第5版 下記を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none"> 「はじめに」→「前提条件」の記述を追加 「正常に動作しない環境」からシンクライアントの制限を削除
2017-04-01	第6版 下記を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none"> 「既存環境のバージョンアップ」の記述を追加
2018-04-01	第7版 下記を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none"> 「PDFメイクアップのインストール」を修正 「はじめに」を修正 「既存環境のバージョンアップ」を修正
2018-08-01	第8版 下記を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none"> 「はじめに：前提条件」で「PDFメイクアップインストール・ガイド」の文書プロパティをクリア 「はじめに：前提条件」で「セキュリティ機能の動作条件」の文書プロパティをクリア 「はじめに：前提条件」で「対応PDFファイルにつきまして」の文書プロパティをクリア
2018-12-01	第9版 下記を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none"> 「PDFメイクアップのインストール」の章で「OSを再起動してください。」と追加 「既存環境のバージョンアップ」の章で「OSを再起動してください。」と追加 表記のゆれを訂正
2020-04-01	第10版 下記を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none"> Windows 7 / Windows Server 2008 の記述を削除 「プロジェクトの作成とモジュールの選択」に「アプリケーションを複数同時に選択する場合は、必ず同じバージョンを選択してください。」と追加 UACの監視下にあるディレクトリをインストール先として避ける記述を追加 「PDFメイクアップインストール・ガイド」を更新

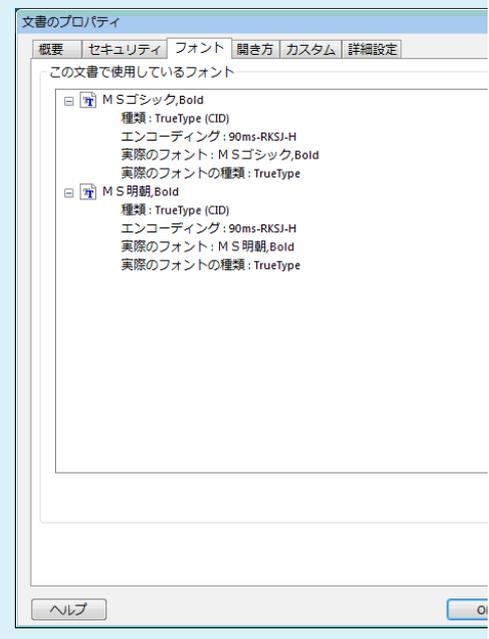


2. 「文書のプロパティ」画面が表示されるので、「フォント」タブをクリックして「埋め込まれたフォント」を確認してください。フォント名が正しく埋め込まれている場合、フォント名の右側に「埋め込まれた」の記載があります。



コラム

正しく埋め込まれていない場合、フォント名の右側に「埋め込まれた」の記載がありません。



変更年月日	変更内容
2020-12-01	<p>第11版 下記を追加・変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「前提条件」の「セキュリティ機能の動作条件」を削除（当該ドキュメントのシステム要件に関する記述を、「IM-PDFCoordinator for Accel Platform リリースノート」へ移行） 「前提条件」の「対応PDFファイルにつきまして」を削除（当該ドキュメントのシステム要件に関する記述を、「IM-PDFCoordinator for Accel Platform リリースノート」へ移行） 「インストール・環境設定」 <ul style="list-style-type: none"> 「環境変数の設定」の記述を変更 「既存環境のバージョンアップ」 <ul style="list-style-type: none"> 「環境変数の設定」の記述を変更 「付録」を追加 <ul style="list-style-type: none"> 「連携エンジンバージョン」を追加
2021-04-01	<p>第12版 下記を追加・変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「必要なライセンス」にライセンスの入力方法についての記述を追加 「連携エンジンバージョン」を更新
2021-08-01	<p>第13版 下記を追加・変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「PDFメイクアップ インストール・ガイド」を更新 「連携エンジンバージョン」を更新
2021-12-01	<p>第14版 下記を追加・変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「インストール・環境設定」に「【Linux 環境】」を追加 「アンインストール」に「Linux の場合」を追加 「連携エンジンバージョン」を更新 「インストール・環境設定」の「【Windows 環境】」で32bitに関する記載を削除 「【Windows 環境】」の「環境変数の設定」でjarファイル名を makeup-win.jar に変更 「Windows の場合」の「JAR ファイルの削除」でjarファイル名を makeup-win.jar に変更
2022-06-01	<p>第15版 下記を追加・変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「連携エンジンバージョン」に 2022 Spring に対応したバージョンを追加
2022-12-01	<p>第16版 下記を追加・変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「IPAフォントの切替方法」を追加 「フォント埋め込み設定」を追加 「連携エンジンバージョン」に 2022 Winter に対応したバージョンを追加
2023-04-01	<p>第17版 下記を追加・変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「IM-PDFCoordinator for Accel Platform のエディション」を追加 「プロジェクトの作成とモジュールの選択」にエディションに関するコラムを追加 「連携エンジンバージョン」に 2023 Spring に対応したバージョンを追加

変更年月日	変更内容
2023-10-01	<p data-bbox="280 129 571 152">第18版 下記を追加・変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="296 174 715 197">▪ 「スタンドアローン構成 と 分散構成」を追加 <li data-bbox="296 210 512 232">▪ 「インストール前に」 <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="328 246 719 268">▪ 「全体のインストール作業の流れ」を削除 <li data-bbox="296 282 596 304">▪ 「セットアップの流れ」を追加 <li data-bbox="296 318 668 340">▪ 「ミドルウェアのセットアップ」を追加 <li data-bbox="296 353 568 376">▪ 「インストール・環境設定」 <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="328 389 852 448">▪ 「PDFメイクアップのインストール」の見出しを「PDFメイクアップのセットアップ」に変更 <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="360 461 603 483">▪ 「【Windows 環境】」 <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="392 497 807 519">▪ 「PDFメイクアップのインストール」を追加 <li data-bbox="392 533 828 591">▪ 「【Windows 環境】」の記述を「PDFメイクアップのインストール」に移動 <li data-bbox="360 604 568 627">▪ 「【Linux 環境】」 <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="392 640 807 663">▪ 「PDFメイクアップのインストール」を追加 <li data-bbox="392 676 852 734">▪ 「【Linux 環境】」の記述を「PDFメイクアップのインストール」に移動 <li data-bbox="328 748 636 770">▪ 「WARファイルの作成」を追加 <li data-bbox="328 784 828 842">▪ 「プロジェクトの作成とモジュールの選択」の項目を「WARファイルの作成」に移動 <li data-bbox="296 855 687 878">▪ 「ミドルウェア製品の起動・停止」を追加 <li data-bbox="296 891 507 913">▪ 「デプロイ」を追加 <li data-bbox="296 927 651 949">▪ 「テナント環境セットアップ」を追加 <li data-bbox="296 963 576 985">▪ 「ライセンスの登録」を追加 <li data-bbox="296 999 852 1057">▪ 「アップデート・パッチの適用・モジュール構成の変更」を追加 <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="328 1070 852 1128">▪ 「既存環境のバージョンアップ」の項目を「アップデート」に移動 <li data-bbox="296 1142 852 1200">▪ 「連携エンジンバージョン」に 2023 Autumn に対応したバージョンを追加
2024-04-01	<p data-bbox="280 1211 571 1234">第19版 下記を追加・変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="296 1256 536 1279">▪ 「【Windows 環境】」 <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="328 1292 852 1350">▪ 「PDFメイクアップのインストール」にインストールガイドのリンクを追加 <li data-bbox="296 1364 504 1386">▪ 「【Linux 環境】」 <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="328 1400 852 1458">▪ 「PDFメイクアップのインストール」のライセンス設定の記述を変更 <li data-bbox="296 1471 852 1529">▪ 「連携エンジンバージョン」に 2024 Spring に対応したバージョンを追加

変更年月日	変更内容
2024-10-01	<p>第20版 下記を追加・変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「 セットアップの流れ 」の環境設定のリンク先を変更 ▪ 「 インストール・環境設定 」 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「 【Windows 環境】 」 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「 環境設定 」を追加 ▪ 「 環境変数の設定 」の見出しを「 環境変数 」に変更し、「 環境設定 」に移動、および、手順を見直し、記述を変更 ▪ 「 JARファイル設置 」を追加 ▪ 「 【Linux 環境】 」 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「 環境設定 」を追加 ▪ 「 環境変数の設定 」の見出しを「 環境変数 」に変更し、「 環境設定 」に移動、および、手順を見直し、記述を変更 ▪ 「 JARファイル設置 」を追加 ▪ 「 アンインストール 」 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「 Windows の場合 」 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「 環境変数の削除 」の手順を見直し、記述を変更 ▪ 「 JARファイルの削除 」の手順を見直し、記述を変更 ▪ 「 連携エンジンバージョン 」に 2024 Autumn に対応したバージョンを追加
2025-04-01	<p>第21版 下記を追加・変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「 インストール・環境設定 」 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「 【Windows 環境】 」 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「 フォント埋め込み設定 」を追加 ▪ 「 【Linux 環境】 」 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「 フォント埋め込み設定 」を追加 ▪ 「 付録 」 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「 連携エンジンバージョン 」に 2025 Spring に対応したバージョンを追加 ▪ 「 フォント設定 」を追加 ▪ 「 IPAフォントの切替方法 」を「 フォント設定 」に移動 ▪ 「 フォント埋め込み設定 」を削除 ▪ 「 共通 」を追加
2025-10-01	<p>第22版 下記を追加・変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「 連携エンジンバージョン 」に 2025 Autumn に対応したバージョンを追加
2026-04-01	<p>第23版 下記を追加・変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「 スタンドアローン構成 と 分散構成 」の記述を見直し ▪ 「 【Windows 環境】 」 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「 環境変数 」に環境変数の確認に関するコラムを追加 ▪ 「 【Linux 環境】 」 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「 PDFメイクアップのインストール 」にインストーラに関する記述を追加 ▪ 「 環境変数 」に環境変数の確認に関するコラムを追加 ▪ 「 環境変数の確認 」を追加 ▪ 「 連携エンジンバージョン 」にバージョンに関する注意を追加

はじめに

目次

- 本書の目的
- 前提条件
 - セキュリティ機能 (Security) の前提条件
- 対象読者
- スタンドアローン構成 と 分散構成
- IM-PDFCoordinator for Accel Platform のエディション
- 用語解説

本書の目的

本書では IM-PDFCoordinator for Accel Platform のセットアップ手順について説明します。

前提条件

1. intra-mart Accel Platform サーバで運用される場合を前提にしております。
2. 以下のドキュメントに記載されているシステム要件を満たしている必要があります。
 - 「IM-PDFCoordinator for Accel Platform リリースノート」
 - 「PDFメイクアップインストール・ガイド(Windows版)」
 - 「タブレットや携帯端末において弊社製品から作成されるPDFファイルを表示する際の注意点」
3. 重要 注意事項
 - PDFファイルのオープンパスワードとセキュリティパスワードは、同一にしないでください。
 - パスワードを同一にしますとPDFファイルを開いた状態で、PDFファイルの編集加工が可能となってしまいます。このため、セキュリティ用のスクリプト等が解除可能になります。

セキュリティ機能 (Security) の前提条件

1. Adobe Reader上の設定条件
 - 「環境設定」→「JavaScript」→「Acrobat JavaScript を有効にする」 をONにする必要があります。
 - メニュー構成は、Adobe Readerのバージョンに依存するため、ご利用中のバージョンに合わせて適宜読み替えてください。
2. 「IM-QuickBinder ダウンロードプロテクション」と同等の機能ではありません。
 - PDFファイルのダウンロードは出来ます。
 - 画面のキャプチャは出来ます。
 - PDFファイルのみが対象です。
 - PDFファイルにパスワードが付与されており、パスワードがわからない場合、セキュリティを付与することはできません。
 - 前提として、Adobe Reader/Acrobatが適切な環境設定で動いている必要があります。
 - URL制限の機能を利用する場合、Adobe Reader/Acrobatの設定にて「JavaScript 許可」「インターネットブラウザにてPDFをブラウザで表示するにチェック (URL指定の場合)」が必要です。
3. 保存場所制限の場合の文書管理注意事項
 - URL指定機能は、実際にAdobe Readerが認識するURLで判断します。必ず想定している環境 (Adobe ReaderおよびIE等) にて事前確認をお願いします。
 - URL制限の仕組みでは、「まったく同じURLを構築された場合見えてしまう」というリスクがあります。
このため、URLを外部に知らせないことが重要です。エラー画面等に PDFファイルに設定されているURL表示することは避けてください。また、できる限り可変のURL (URLにハッシュ値を含める等...) を指定することを推奨します。
ファイルをユニークな場所にコピー⇒そこでのみ見えるURLを指定して処理⇒ユーザーに見せる⇒一定時間が経過した後は上記のファイルを削除 する等の運用を推奨します。
4. セキュリティ付のPDFファイルの作成のタイミングと、サムネール処理との関係
 - セキュリティ付与されたPDFファイルのサムネールは作成できません。

このため、サムネイルの作成が必要なシステムと同居する場合には、セキュリティ付のPDFファイルを作成するタイミングに注意してください。

- 事前に作成
事前にすべてのPDFファイルに先にセキュリティを付与します。この方法は速度面でメリットがあります。
- 閲覧時にその都度作成
閲覧要望ごとにセキュリティを付与します。
事前に作成してしまったほうが、ユーザとしてストレスが発生しませんが、その場合はPDFファイルにセキュリティがかかっておりサムネイルが作成できませんので注意してください。
- 閲覧制限付PDFファイルは制限（抜け道）のあるセキュリティ機能です。
個人情報等の100%情報漏えいさせたくないような場合には向いていません。そのような場合はPDFファイルのオープンパスワードを使用してください。
あくまでセキュリティが強化されるという認識でご利用ください。

5. サポートするPDFファイルの種類

- サポート対象のPDFファイルの種類についての詳細は、添付資料を参照してください。
- 添付資料のPDFファイルでも、別途有償にてサポート可能な場合があります。

6. セキュリティ強度について

- ファイルを開くためのパスワード（以下、オープンパスワード）のセキュリティは、ファイルの中身を暗号化するため強固です。
 - ファイルの中身が暗号化されますので、オープンパスワードがわからない限り閲覧することはできません。
 - 非常に重要な文書に関しては、オープンパスワードを併用することを推奨します。
- 総当たり攻撃を考慮した場合、強度はパスワード長さに依存します。20文字以上にすることで総当たり攻撃にも耐える強度が確保されますが、パスワードの長さは現実の運用を考慮してご判断ください。
- セキュリティパスワードの強度は、オープンパスワードより低いです。これは、セキュリティパスワードはファイルの中身を暗号化している訳ではなく、印刷/編集等の利用可否をフラグで制御していることに起因します。
- PDFファイルの規格上のセキュリティと、JavaScriptで強制的に稼働するセキュリティとで制限が異なります。
 - パターンとしては以下の3種類（JavaScriptで2つに分岐）があります。
 - 1. オープンパスワード/セキュリティパスワード/JavaScript
 - 2. オープンパスワード/セキュリティパスワード
 - 3. セキュリティパスワード/JavaScript
 - オープンパスワードとセキュリティパスワードに同じ文字列を指定しないでください。
 - JavaScriptのみのセキュリティでは、JavaScriptの中身が見えてしまうため、セキュリティパスワードとの併用を推奨します。
 - セキュリティパスワードをユーザに周知する運用も、JavaScriptの中身が見えてしまうため推奨しません。

7. 有効期限の設定

- 有効期限の設定は、年月日で指定可能です。時間は指定できません。
- 時間を指定した場合、時間の指定は無視されます。
- 2013/05/30 ~2013/05/30 と指定した場合、2013/05/30中はPDFを開くことができます。
- 期限の日付は、PDFファイルを開いているマシンの日付が適用されます。

対象読者

以下の利用者を対象としています。

- intra-mart Accel Platform サーバでの IM-PDFCoordinator for Accel Platform のセットアップを行われる方

スタンドアローン構成 と 分散構成

本書における スタンドアローン構成 と 分散構成 は次の構成を指します。

スタンドアローン構成

intra-mart Accel Platform と同じサーバに連携エンジンを導入する構成です。

分散構成（非対応）

intra-mart Accel Platform とは別のサーバ（PDF処理サーバ）に連携エンジンを導入する構成です。

エディション（IM-PDFCoordinator for Accel Platform / IM-PDFCoordinator FullPack for Accel Platform）に関わらず、本製品は 分散構成 に対応していません。

 注意

エディション（IM-PDFCoordinator for Accel Platform / IM-PDFCoordinator FullPack for Accel Platform）に関わらず、本製品は スタンドアローン構成 のみサポートしています。

上記エディションの違いは、利用可能な機能数が異なるという点のみです。

他製品と異なり、IM-PDFCoordinator FullPack for Accel Platform を導入しても 分散構成 は利用できないため、注意してください。

IM-PDFCoordinator for Accel Platform のエディション

IM-PDFCoordinator for Accel Platform は次の2種類のエディションが存在します。

- IM-PDFCoordinator for Accel Platform
- IM-PDFCoordinator FullPack for Accel Platform

詳細については、「[IM-PDFCoordinator for Accel Platform リリースノート](#)」-「[機能一覧](#)」を参照してください。

用語解説

- Resin をインストールしたディレクトリを %RESIN_HOME% と略します。
- Apache HTTP Server をインストールしたディレクトリを %APACHE_HOME% と略します。
- Storage として使用するディレクトリを %PUBLIC_STORAGE_PATH% と略します。
- Webサーバ利用時の静的コンテンツを配置するディレクトリを %WEB_PATH% と略します。
- PDFメイクアップをインストールしたディレクトリを %PDFMAKEUP_HOME% と略します。

項目

- 必要なライセンス
- インストール前に必要な確認事項
- 正常に動作しない環境
- 注意事項

必要なライセンス

IM-PDFCoordinator for Accel Platform をご利用いただくには、以下のライセンスが必要になります。

製品のインストールの際にライセンスを入力してください。

ライセンスが未入力の状態では動作しませんのでご注意ください。

- PDFメイクアップのライセンス

インストール前に必要な確認事項

インストール前に、必ず以下を設定・確認してください。

- OSの最新のバッチをインストールしてください。
- 必ずインストールするマシン自体に管理者権限 (Administrator) のあるユーザでログインしてください。ネットワーク管理者権限 (Network Administrator) があっても、そのマシン自体の管理者権限 (Administrator) がないことも考えられます。

正常に動作しない環境

- 正常に動作しない環境については、各製品マニュアルを参照ください。

注意事項

以下を事前にご確認ください。

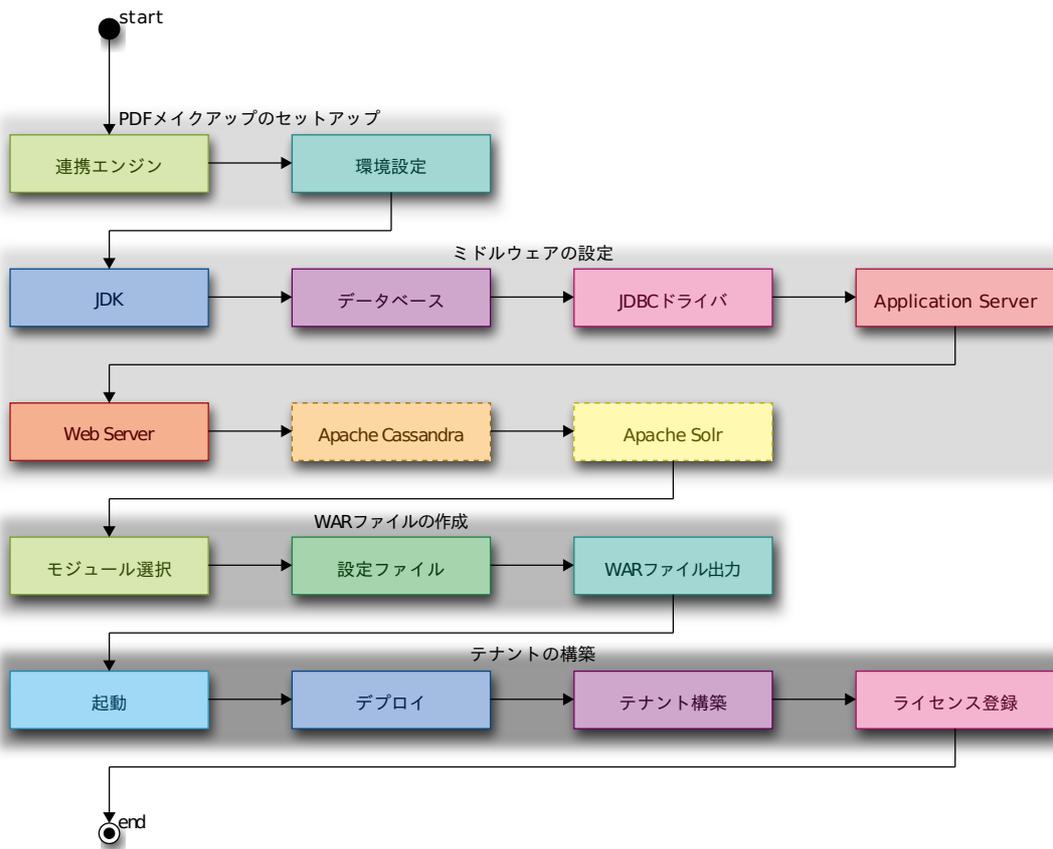
- ウイルスソフトによっては、ウイルスチェック時にファイルを掴むものがあります。PDF処理に影響がでる場合は、作業フォルダをウイルスチェックの対象から外す必要があります。

セットアップ手順は次のフローチャートの通りです。

各ステップごとのセットアップ手順は一覧のリンク先を参照してください。

凡例

- 必須・・・セットアップが必要な項目です。
- 任意・・・セットアップをスキップする事ができる項目です。



Name	Description
start	
連携エンジン	PDFメイクアップのセットアップ - PDFメイクアップのインストール Windows / Linux
環境設定	PDFメイクアップのセットアップ - 環境設定 Windows / Linux
JDK	JDK
データベース	データベース
JDBCドライバ	JDBCドライバ
Application Server	Web Application Server
Web Server	Web Server
Apache Cassandra	Apache Cassandra
Apache Solr	Apache Solr

Name	Description
モジュール選択	プロジェクトの作成とモジュールの選択 - プロジェクトの作成とモジュールの選択
設定ファイル	基盤の設定ファイル - 設定ファイルの編集
WARファイル出力	WARファイルの出力 - WAR ファイルの出力・設置
起動	Web Application Server の起動・停止
デプロイ	WARファイルのデプロイ
テナント構築	テナント環境セットアップ
ライセンス登録	ライセンスの登録
end	

ミドルウェアのセットアップを行います。

詳細は、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」-「[intra-mart Accel Platform を利用するためのミドルウェアのインストールと設定](#)」を参照してください。

IM-PDFCoordinator for Accel Platform のセットアップに必要な次のインストール、および、設定を行います。

intra-mart Accel Platform サーバでの作業内容を説明します。

intra-mart Accel Platform サーバを複数台用意する場合は、すべての intra-mart Accel Platform に次の作業を実施してください。

PDFメイクアップ のセットアップ

【 Windows 環境】

項目

- PDFメイクアップ のインストール
- 環境設定
 - 環境変数
 - JARファイル設置
 - フォント埋め込み設定

PDFメイクアップ のインストール

1. intra-mart Accel Platform サーバに管理者権限 (Administrator) のあるユーザでログインしてください。
2. 「PDFメイクアップ インストール・ガイド(Windows版)」に沿って、インストール、および、ライセンスを設定してください。
3. OSを再起動してください。

i コラム

UACの監視下にあるディレクトリにインストールした場合、ディレクトリの読み書きにおいて制限を受ける可能性があります。

PDFメイクアップ のインストール先に、「Program Files」等UACの監視下にあるディレクトリは避けてください。

(インストール先の例) C:\tool\PDFMakeup

i コラム

インストールパスには、バージョン番号を含めないことを推奨します。

インストールパスには環境変数を設定するため、バージョン番号をパスに含めた場合、環境変数の再設定が必要となる場合があります。

環境設定

環境変数

Windows での環境変数の設定手順を示します。

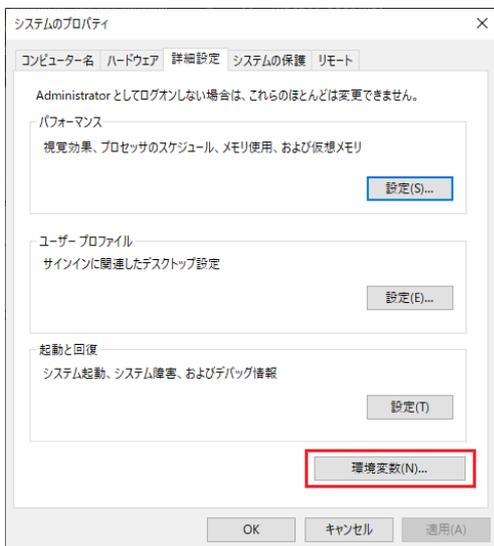
1. 「コントロールパネル」-「システムとセキュリティ」-「システム」-「システムの詳細設定」をクリックします。



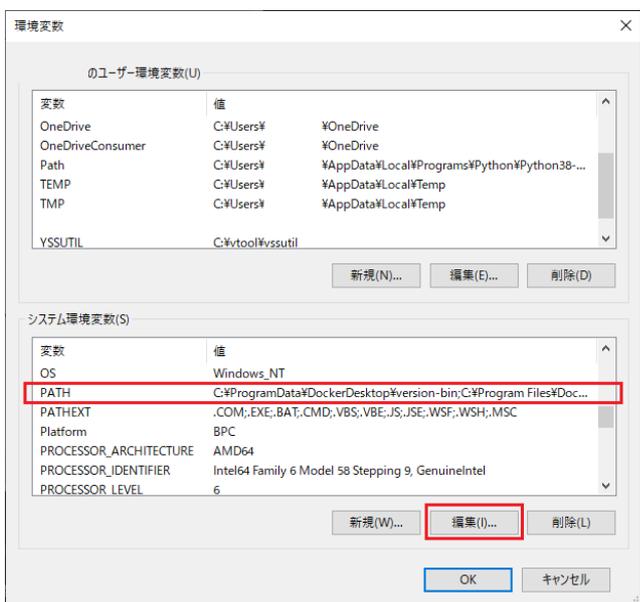
! 注意

「システムのプロパティ」画面の表示方法は、OSにより異なります。

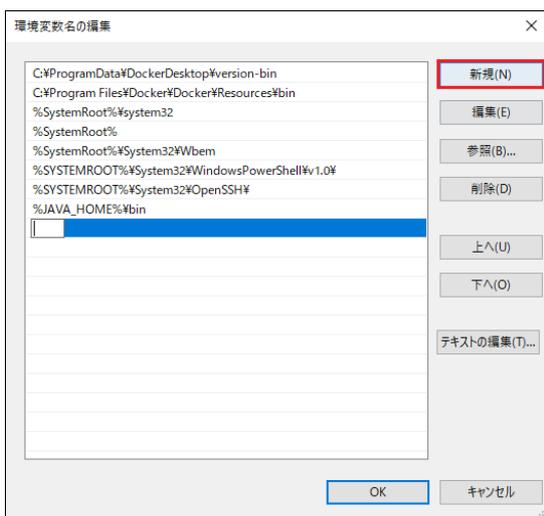
2. 「システムのプロパティ」画面が表示されるので、「詳細設定」タブ-「環境変数」をクリックします。



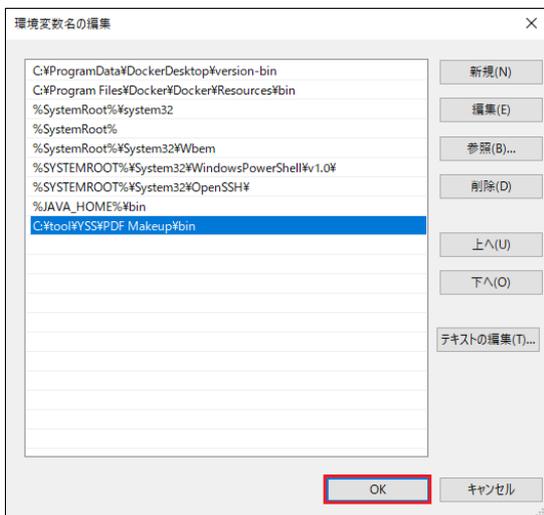
3. 「環境変数」画面が表示されるので、「システム環境変数」-「PATH」を選択し、「編集」をクリックします。



4. 「環境変数名の編集」画面が表示されるので、「新規」をクリックします。



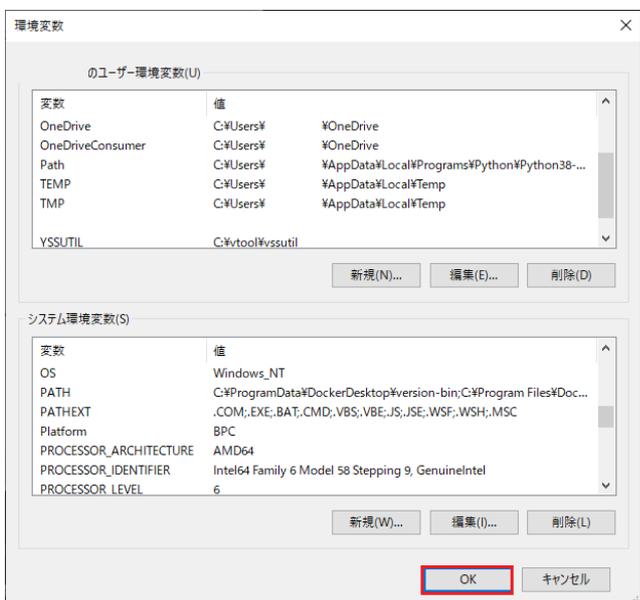
5. < %PDFMAKEUP_HOME% /bin >のパスを入力し、「OK」をクリックします。



注意

IM-PDFAutoConverter for Accel Platform の、連携エンジン PDFオートコンバータEX の環境変数が既に設定されている場合は、それよりも上に 連携エンジン PDFメイクアップ の環境変数を設定してください。

6. 「OK」をクリックします。



7. コマンドプロンプトを起動し、次のコマンドを実行します。

```
> ypdfmulc
```

8. 次の画面が表示されれば、環境変数の設定は完了です。



コラム

スタンドアローン構成の場合、設定した環境変数が Resin 上で有効となっているか、テナント環境セットアップ後に確認を行います。

確認手順は、「[環境変数の確認](#)」を参照してください。

JARファイル設置

JARファイルの設置手順を示します。

1. Resin を停止させます。

- JARファイル< lib/win/ makeup-win.jar >を、< %RESIN_HOME%/lib >に設置します。
- Resin を再起動させます。

フォント埋め込み設定

フォント埋め込み設定の詳細については、「[フォント埋め込み設定](#)」を参照してください。

【Linux 環境】

項目

- PDFメイクアップ のインストール
- 環境設定
 - 環境変数
 - JARファイル設置
 - フォント埋め込み設定

PDFメイクアップ のインストール

次の手順でインストールしてください。

- PDFメイクアップ セットアップファイルをコピーします。
 < install/lnx >フォルダ内の< pmuX.X.X.linux.64.jp.tar >、または、< pmuX.X.X.arm.64.jp.tar >をインストール先にコピーします。
 インストーラを< pmuX.X.X.linux.64.jp.tar >、インストール先を< /usr/local/ >として説明します。

```
$ cp [ディレクトリ]/lnx64/pmuX.X.X.linux.64.jp.tar /usr/local/.
```

コラム

インストーラについては、構築する環境のCPUアーキテクチャに合わせて選択してください。

- x64の場合 : < pmuX.X.X.linux.64.jp.tar >
- ARM64の場合 : < pmuX.X.X.arm.64.jp.tar >

- 圧縮ファイルを解凍します。

```
$ cd /usr/local/
$ tar xvf pmuX.X.X.linux.64.jp
```

コラム

Resin を実行するユーザにて解凍します。

解凍された各ファイルの権限に、解凍したユーザ権限 (実行、参照権限) が付与されます。

- 解凍されたディレクトリの名称を *pmu* に変更します。

```
$ mv pmuX.X.X.linux.64 pmu
```

- テキストエディタで、ライセンスファイル< pmu/etc/license.txt >を開きます。
 次の例は、viエディタを使用する場合です。

```
$ vi pmu/etc/license.txt
```

- ライセンスを入力し、保存します。

```
#ここにライセンス文字列を書き込んで下さい。
Makeup_license-ABCDE-1234-abc
```

コラム

行頭に「# (シャープ)」をつけた行は、コメントアウトされます。

環境設定

環境変数

Linux での環境変数の設定手順を示します。

1. 次のコマンドを実行し、< %PDFMAKEUP_HOME% >のパスを環境変数へ登録します。
< %PDFMAKEUP_HOME% >を< /usr/local/pmu >として説明します。

環境変数名	設定値
PDFMAKEUP	%PDFMAKEUP_HOME% (末尾の"/"スラッシュは不要)

```
$ PDFMAKEUP=/usr/local/pmu
$ export PDFMAKEUP
```

2. 次のコマンドを実行し、< %PDFMAKEUP_HOME% /mu.sh >に実行権限を追加後、環境変数を追加します。

```
$ chmod +x /usr/local/pmu/mu.sh
$ ./usr/local/pmu/mu.sh
```

コラム

コマンドを実行することで、次の環境変数が追加されます。

環境変数名	設定値
PATH	\$PDFMAKEUP/bin
LD_LIBRARY_PATH	\$PDFMAKEUP/lib

3. 次のコマンドを実行し、連携エンジン PDFメイクアップのバージョンが表示されれば、環境変数の設定は完了です。

```
$ muvers
```

コラム

スタンドアロン構成の場合、設定した環境変数が Resin 上で有効となっているか、テナント環境セットアップ後に確認を行います。

確認手順は、「[環境変数の確認](#)」を参照してください。

注意

systemd などサービス起動する場合、起動ユーザ（ログインユーザ）は指定できませんが、.bashrc など設定された環境変数を全く継承しません。Resin の起動スクリプト（サービス）に直接、環境変数を設定してください。

注意

systemd の Environment / EnvironmentFile では環境変数は展開されない為、設定する際は、環境変数ごとに明確にPATHを記載してください。

```
[NG]
PDFMAKEUP=/usr/local/pmu
PATH=$PDFMAKEUP/bin:$PATH
LD_LIBRARY_PATH=$PDFMAKEUP/lib

[OK]
PDFMAKEUP=/usr/local/pmu
PATH=/usr/local/pmu/bin:/usr/bin
LD_LIBRARY_PATH=/usr/local/pmu/lib
```

注意

Resin を実行するユーザ以外でインストーラの圧縮ファイルを解凍してしまった場合、または、権限ユーザを変更する場合の手順を示します。

■ 実行権限の設定

実行 (execute) 権限を設定する手順を示します。

1. < %PDFMAKEUP_HOME% /bin >に移動します。
< %PDFMAKEUP_HOME% >を< /usr/local/pmu >として説明します。

```
$ cd /usr/local/pmu/bin/
```

2. 全てのファイルに実行権限を付与します。

```
$ chmod +x *
```

■ 参照権限の設定

参照 (Read) 権限を設定する手順を示します。

- < %PDFMAKEUP_HOME% /lib >内のファイルに参照権限を設定します。

1. < %PDFMAKEUP_HOME% /lib >に移動します。
< %PDFMAKEUP_HOME% >を< /usr/local/pmu >として説明します。

```
$ cd /usr/local/pmu/lib/
```

2. 全てのファイルに参照権限を付与します。

```
$ chmod +r *
```

- < %PDFMAKEUP_HOME% /etc >内のファイルに参照権限を設定します。

1. < %PDFMAKEUP_HOME% /etc >に移動します。
< %PDFMAKEUP_HOME% >を< /usr/local/pmu >として説明します。

```
$ cd /usr/local/pmu/etc/
```

2. 全てのファイルに参照権限を付与します。

```
$ chmod +r *
```

サブディレクトリがある場合は、サブディレクトリ、および、サブディレクトリ内のファイルにも同様の権限を設定してください。

JARファイル設置

JARファイルの設置手順を示します。

1. Resin を停止させます。
2. JARファイル< lib/lnx/ makeup-linux.jar >を、< %RESIN_HOME%/lib >に設置します。

```
$ cp [ディレクトリ]/lib/lnx/makeup-linux.jar %RESIN_HOME%/lib/
```

3. Resin を再起動させます。

フォント埋め込み設定

フォント埋め込み設定の詳細については、「[フォント埋め込み設定](#)」を参照してください。

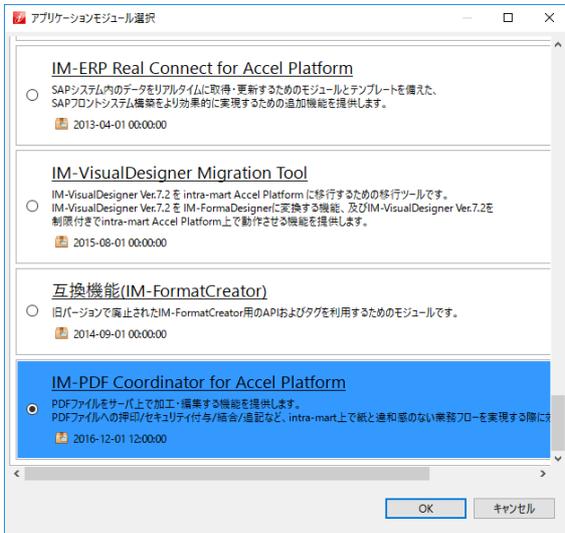
WARファイルの作成

項目

- プロジェクトの作成とモジュールの選択
- WARファイルの出力・設置

プロジェクトの作成とモジュールの選択

1. 「intra-mart Accel Platform セットアップガイド」にしたがって、プロジェクトを用意します。
プロジェクトの作業手順の詳細については、「intra-mart Accel Platform セットアップガイド」を参照してください。
2. IM-Juggling で利用するアプリケーションを選択する際に、「IM-PDFCoordinator for Accel Platform」を選択します。



i コラム

2023 Spring のバージョンからエディションが「IM-PDFCoordinator for Accel Platform」と、「IM-PDFCoordinator FullPack for Accel Platform」に分かれていますが、アプリケーションモジュールとしては同じです。

そのため、アプリケーションを選択する際は「IM-PDFCoordinator for Accel Platform」を選択してください。

! 注意

次のアプリケーションを複数同時に選択する場合は、必ず同じバージョンを選択してください。

- IM-PDFDesigner for Accel Platform
- IM-PDFAutoConverter for Accel Platform
- IM-PDFCoordinator for Accel Platform
- IM-PDFDirectPrint for Accel Platform
- IM-PDFTimeStamper for Accel Platform

! 注意

既に IM-PDFCoordinator for Accel Platform を導入中で、IM-PDFCoordinator for Accel Platform 8.0.6 以降にバージョンアップする場合には、IM-Juggling の ユーザモジュールから IM-PDFCoordinator for Accel Platform を削除してください。

i コラム

アプリケーションは後で追加することもできます。追加する方法は、「intra-mart Accel Platform セットアップガイド」-「アプリケーションの追加」を参照してください。

WARファイルの出力・設置

1. WARファイル、静的ファイルを出力し、設置します。
出力・設置手順については、次のドキュメントを参照してください。
 - 「intra-mart Accel Platform セットアップガイド」-「WARファイルの出力」
 - 「intra-mart Accel Platform セットアップガイド」-「静的ファイルの出力」
 - 「intra-mart Accel Platform セットアップガイド」-「デブロイ」

環境変数の確認

環境変数の設定に使用したユーザやその権限、設定方法などによって、Resin の実行ユーザからみて有効な環境変数になっていない場合があります。

設定した環境変数が Resin 上で有効となっているか確認する手順を示します。

1. テナント環境セットアップ後、システム管理者画面のホームウィジェットよりstatus.zipを取得し、解凍します。
2. セットアップ時に設定した次の環境変数が、<status/system/platform_XX/environment/os.txt >に存在することを確認します。存在しない場合は、環境変数の設定を見直してください。

- Windows の場合：「[環境変数](#)」

項目	値
PATH	< %PDFMAKEUP_HOME% /bin >

- Linux の場合：「[環境変数](#)」

項目	値
PDFMAKEUP	< %PDFMAKEUP_HOME% >
PATH	< %PDFMAKEUP_HOME% /bin >
LD_LIBRARY_PATH	< %PDFMAKEUP_HOME% /lib >

セキュリティ機能（Security）の閲覧制限機能を使用する場合

項目

- [設定ファイルの編集](#)

設定ファイルの編集

1. intra-mart Accel Platform に管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。
2. <pdfprotection.xml> ファイルを環境に合わせて修正してください。
3. 修正後 intra-mart Accel Platform を再起動してください。
4. 以上で作業は完了です。

ファイル	場所
pdfprotection.xml	%RESIN_HOME%/webapps/{アプリケーション名}/WEB-INF/classes

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!DOCTYPE properties SYSTEM "http://java.sun.com/dtd/properties.dtd">
<properties>
  <comment></comment>

  <!-- 一時フォルダ（未設定の場合は環境変数TMPまたはTEMPを使用） -->
  <entry key="tempdir"></entry>

  <!-- PDF編集モード -->
  <!-- URLセキュリティ、または、期間セキュリティを付与する場合に、フォーム、注釈、リンクを削除するかどうかを指定します。未指定の場合は0で初期化されます。 -->
  <!-- 0：フォーム、注釈、リンクを削除する -->
  <!-- 1：フォーム、注釈、リンクを削除しない -->
  <entry key="editmode">0</entry>
</properties>
```

ミドルウェア製品の起動・停止を行います。

詳細は、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」-「[Web Application Server の起動・停止](#)」を参照してください。

デプロイ

デプロイを行います。

詳細は、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」-「[WARファイルのデプロイ](#)」
を参照してください。

テナント環境セットアップ

テナント環境セットアップについては、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」-「[テナント環境セットアップ](#)」を参照してください。



注意

WARファイルに含まれているモジュールにより、

テナント環境セットアップにて表示されるウィザードの順序が変わります。

ライセンスの登録

ライセンスの登録を行います。

詳細は、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」-「[ライセンスの登録](#)」を参照してください。

IM-Juggling を利用して最新モジュールの適用や、モジュール構成を変更することができます。

詳細は、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」-「[アップデート パッチの適用](#)」を参照してください。

アップデート

intra-mart Accel Platform 本体のアップデートについては、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」-「[アップデートの適用](#)」を参照してください。

IM-PDFCoordinator for Accel Platform のアップデートについては、次を参照してください。

既存環境のバージョンアップ

intra-mart Accel Platform サーバでの作業内容を説明します。

intra-mart Accel Platform サーバを複数台用意する場合は、すべての intra-mart Accel Platform に次の作業を実施してください。

項目

- warファイルの再デプロイ
- PDFメイクアップ の再インストール

warファイルの再デプロイ

IM-Juggling で作成した war ファイル を再デプロイします。

```
%RESIN_HOME%/webapps
```

PDFメイクアップ の再インストール

アンインストール(「[アンインストール](#)」参照)を実施後、再度、インストール(「[インストール・環境設定](#)」参照)を実施してください。

パッチ

パッチの適用については、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」-「[パッチの適用](#)」を参照してください。

モジュール構成の変更

モジュール構成の変更については、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」-「[モジュール構成の変更](#)」を参照してください。

intra-mart Accel Platform での作業内容を説明します。

intra-mart Accel Platform が複数台ある場合は、各 intra-mart Accel Platform に次の作業を実施してください。

項目

- 作業前に...
- IM-PDFCoordinator for Accel Platform の削除

作業前に...

Resinが停止されている必要があります。

IM-PDFCoordinator for Accel Platform の削除

1. IM-Juggling の「アプリケーション」タブで、「IM-PDFCoordinator for Accel Platform」のチェックマークを外して、warファイルを作成します。
2. 作成したwarファイルを、Resinでデプロイします。



コラム

手順の詳細は、「intra-mart Accel Platform セットアップガイド」-「intra-mart Accel Platform 構成ファイルの作成」および、「intra-mart Accel Platform の起動・停止」を参照してください。

項目

- Windows の場合
 - PDFメイクアップのアンインストール
 - 環境変数の削除
 - JARファイルの削除

Windows の場合

PDFメイクアップをアンインストールする手順を示します。

PDFメイクアップのアンインストール

1. intra-mart Accel Platform サーバに管理者権限 (Administrator) のあるユーザでログインしてください。
2. コントロールパネルからプログラムの追加と削除を開き、PDFメイクアップをアンインストールします。

環境変数の削除

Windows での環境変数の削除手順を示します。

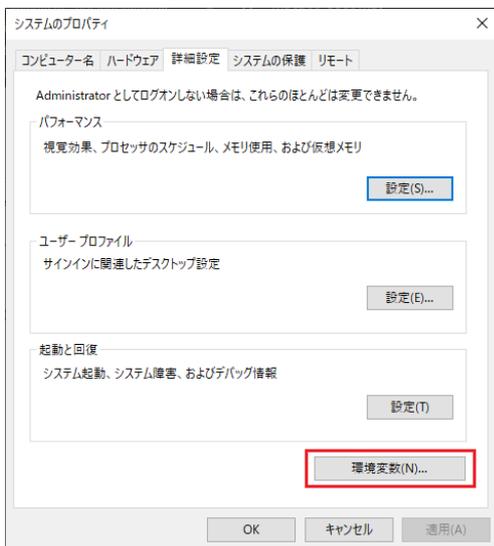
1. 「コントロールパネル」-「システムとセキュリティ」-「システム」-「システムの詳細設定」をクリックします。



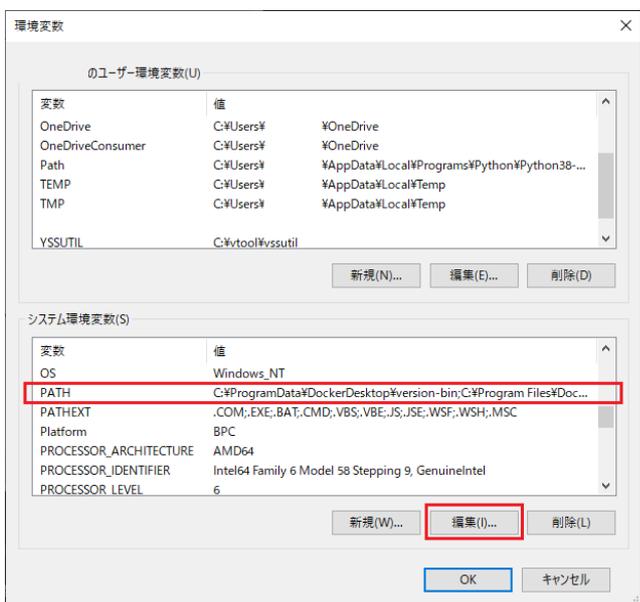
注意

「システムのプロパティ」画面の表示方法は、OSにより異なります。

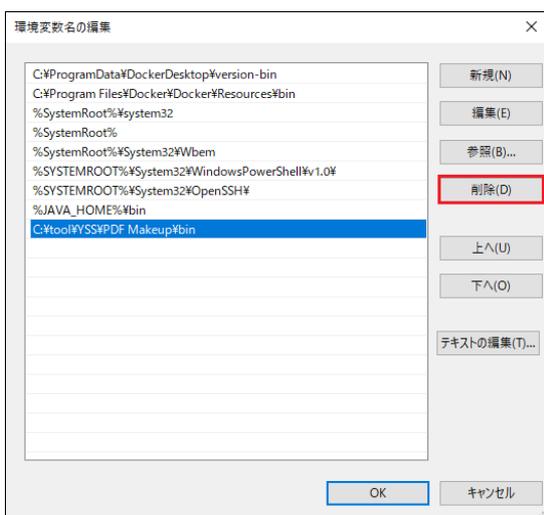
2. 「システムのプロパティ」画面が表示されるので、「詳細設定」タブ-「環境変数」をクリックします。



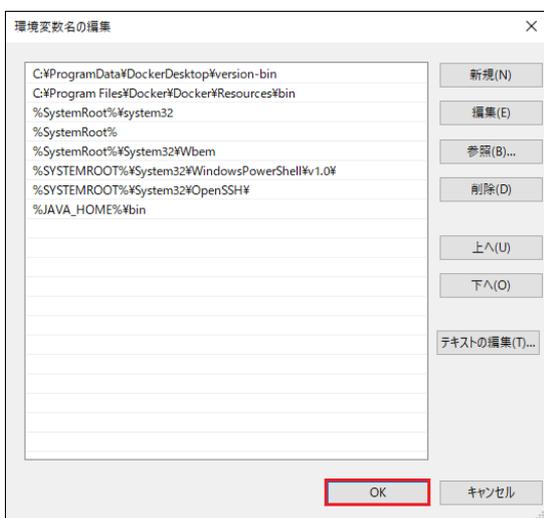
- 「環境変数」画面が表示されるので、「システム環境変数」-「PATH」を選択し、「編集」をクリックします。



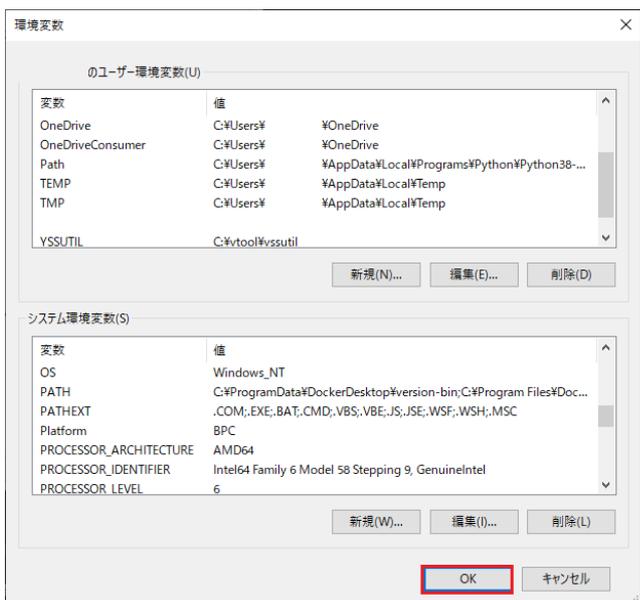
- 「環境変数名の編集」画面が表示されるので、< %PDFMAKEUP_HOME% /bin >のパスを選択し、「削除」をクリックします。



- 「OK」をクリックします。



6. 「OK」をクリックします。



JARファイルの削除

JARファイルの削除手順を示します。

1. Resin を停止させます。
2. JARファイル < makeup-win.jar >を、 < %RESIN_HOME%/lib >から削除します。
3. Resin を再起動させます。

項目

- Linux の場合
 - PDFメイクアップ のアンインストール
 - 環境変数の削除
 - JARファイルの削除

Linux の場合

PDFメイクアップ をアンインストールする手順を示します。

PDFメイクアップ のアンインストール

Linux での PDFメイクアップ のアンインストール手順を示します。

1. PDFメイクアップ をインストールしたディレクトリ < %PDFMAKEUP_HOME% >をディレクトリごと削除します。
< %PDFMAKEUP_HOME% >を < /usr/local/pmu/ >として説明します。

```
$ rm -r /usr/local/pmu/
```

環境変数の削除

Linux での環境変数の削除手順を示します。

1. 環境変数に設定されている PDFメイクアップ の設定値を削除します。

環境変数名	設定値
PDFMAKEUP	%PDFMAKEUP_HOME% (末尾の"/"スラッシュなし)
PATH	\$PDFMAKEUP/bin
LD_LIBRARY_PATH	\$PDFMAKEUP/lib

```
$ PATH= ($PATH から $PDFMAKEUP/bin を除外した値)
$ export PATH
$ LD_LIBRARY_PATH= ($LD_LIBRARY_PATH から $PDFMAKEUP/lib を除外した値)
$ export LD_LIBRARY_PATH
$ export -n PDFMAKEUP
```

JARファイルの削除

JARファイルの削除手順を示します。

1. Resin を停止させます。
2. JARファイル < makeup-linux.jar >を、 < %RESIN_HOME%/lib >から削除します。

```
$ rm %RESIN_HOME%/lib/makeup-linux.jar
```

3. Resin を再起動させます。

【補足】 intra-mart e Builder for Accel Platform との連携方法

intra-mart e Builder for Accel Platform と IM-PDFCoordinator for Accel Platform を連携して開発ができます。

サポート環境は、intra-mart e Builder for Accel Platform のサポート環境に準じます。

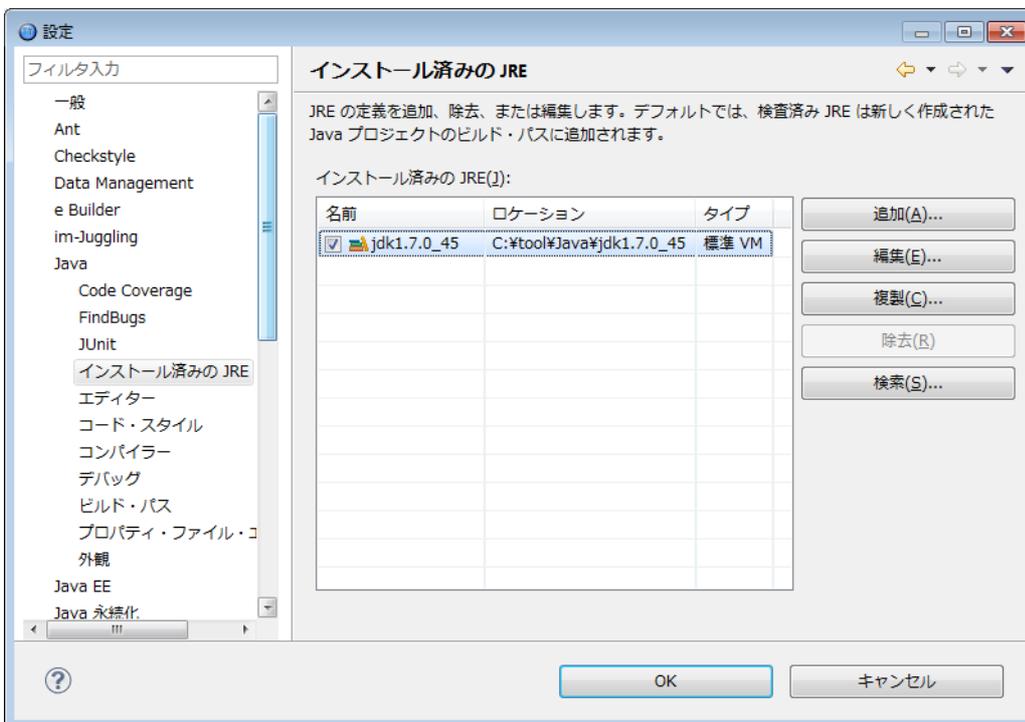
インストール手順は、ご利用環境にあわせて適宜読み替えて作業してください。

環境構築手順

1. インストールマニュアルの手順に従って、intra-mart e Builder for Accel Platform をインストールします。
2. 上記で構築した intra-mart e Builder for Accel Platform 環境に、IM-PDFCoordinator for Accel Platform をインストールします（マニュアルの手順に沿ってインストールをお願いいたします）。具体的には、以下の3点の作業が必要です。
PDFメイクアップのインストール
IM-PDFCoordinator for Accel Platform のインストール
環境設定
3. intra-mart e Builder for Accel Platform の環境設定をします。intra-mart e Builder for Accel Platform は、OSに設定されている環境変数を認識しない場合があり、IM-PDFCoordinator for Accel Platform を起動した際に、UnsatisfiedLinkErrorが発生することがあります。その場合は、intra-mart e Builder for Accel Platform 本体に環境変数を設定します。

intra-mart e Builder for Accel Platform 用の環境変数設定

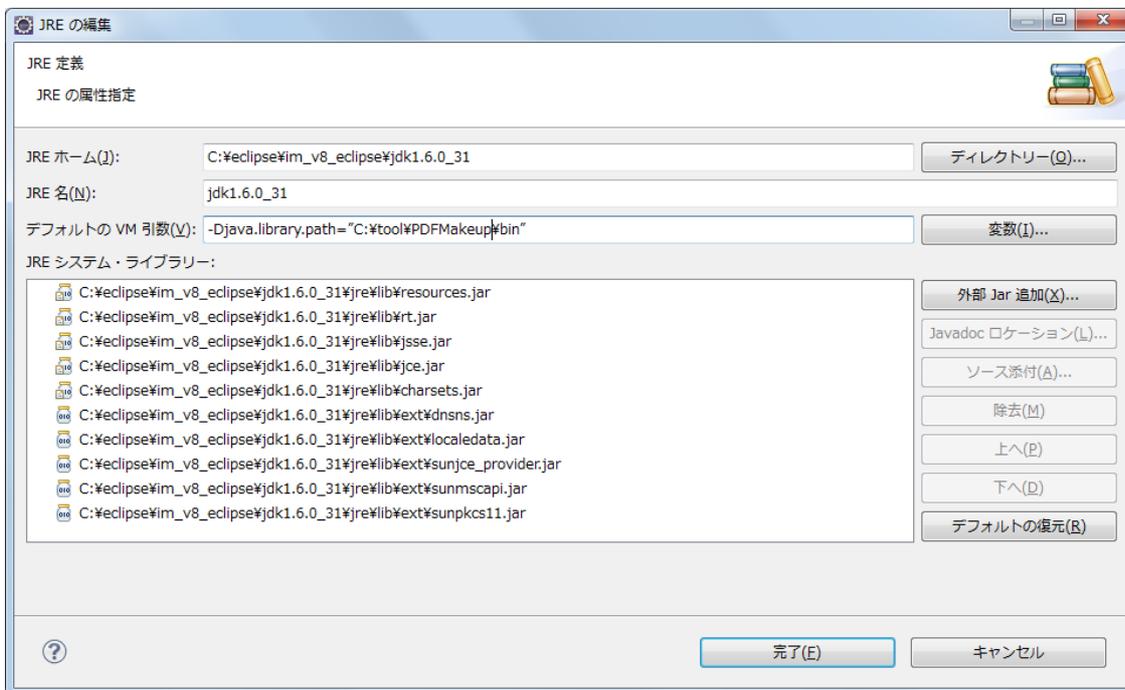
1. intra-mart e Builder for Accel Platform を起動します。
2. ウィンドウ→設定→Java→インストール済みのJREを開きます。



3. 利用しているJDKを選択して、編集ボタンをクリックします。
4. デフォルトのVM引数に PDFメイクアップ のインストール先bin フォルダを指定します。

```
-Djava.library.path="C:\tool\PDFMakeup\bin"
```

5. 入力して、終了ボタンをクリックします。



- 再度 intra-mart e Builder for Accel Platform からデバッグを実行ください。IM-PDFCoordinator for Accel Platform 付属のサンプルプログラムが正常に動作すれば環境構築は完了です。



コラム

環境変数設定後は、必ず Resin をプロセスごと再起動してください。

連携エンジンバージョン

! 注意

次のバージョンは、必ず正しい組み合わせで運用してください。異なる組み合わせはサポート対象外です。

- intra-mart Accel Platform のバージョン
- IM-PDFCoordinator for Accel Platform のバージョン
- 連携エンジンのバージョン

! 注意

最新シーズンでの組み合わせが記載されていない場合、記載されている組み合わせの最新バージョンと同一です。

- [IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2025 Autumn](#)
 - [IM-PDFCoordinator for Accel Platform](#)
 - [IM-PDFCoordinator FullPack for Accel Platform](#)
- [IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2025 Spring](#)
 - [IM-PDFCoordinator for Accel Platform](#)
 - [IM-PDFCoordinator FullPack for Accel Platform](#)
- [IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2024 Autumn](#)
 - [IM-PDFCoordinator for Accel Platform](#)
 - [IM-PDFCoordinator FullPack for Accel Platform](#)
- [IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2024 Spring](#)
 - [IM-PDFCoordinator for Accel Platform](#)
 - [IM-PDFCoordinator FullPack for Accel Platform](#)
- [IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2023 Autumn](#)
 - [IM-PDFCoordinator for Accel Platform](#)
 - [IM-PDFCoordinator FullPack for Accel Platform](#)
- [IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2023 Spring](#)
 - [IM-PDFCoordinator for Accel Platform](#)
 - [IM-PDFCoordinator FullPack for Accel Platform](#)
- [IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2022 Winter](#)
- [IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2022 Spring](#)
- [IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2021 Winter](#)
- [IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2021 Summer](#)
- [IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2021 Spring](#)
- [IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2020 Winter](#)
- [IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2020 Summer](#)
- [IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2020 Spring](#)
- [IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2019 Summer](#)
- [IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2019 Spring](#)
- [IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2018 Winter](#)
- [IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2018 Spring](#)
- [IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2017 Winter](#)
- [IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2017 Summer](#)
- [IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2017 Spring](#)
- [IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2016 Winter](#)
- [IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2016 Spring](#)
- [IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2015 Spring](#)
- [IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2014 Winter](#)
- [IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2014 Spring](#)
- [IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2012 Winter](#)

[IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2025 Autumn](#)

[IM-PDFCoordinator for Accel Platform](#)

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 4.2.3.0

PDFメイクアップ Linux版 4.2.3.1

[IM-PDFCoordinator FullPack for Accel Platform](#)

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 4.2.3.0

PDFメイクアップ Linux版 4.2.3.1

[IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2025 Spring](#)

[IM-PDFCoordinator for Accel Platform](#)

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 4.1.6

PDFメイクアップ Linux版 4.1.6

[IM-PDFCoordinator FullPack for Accel Platform](#)

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 4.1.6

PDFメイクアップ Linux版 4.1.6

[IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2024 Autumn](#)

[IM-PDFCoordinator for Accel Platform](#)

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 4.1.6

PDFメイクアップ Linux版 4.1.6

[IM-PDFCoordinator FullPack for Accel Platform](#)

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 4.1.6

PDFメイクアップ Linux版 4.1.6

[IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2024 Spring](#)

[IM-PDFCoordinator for Accel Platform](#)

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 4.1.3.0

PDFメイクアップ Linux版 4.1.3.0

[IM-PDFCoordinator FullPack for Accel Platform](#)

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 4.1.3.0

PDFメイクアップ Linux版 4.1.3.0

[IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2023 Autumn](#)

IM-PDFCoordinator for Accel Platform

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 4.1.3.0

PDFメイクアップ Linux版 4.1.3.0

IM-PDFCoordinator FullPack for Accel Platform

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 4.1.3.0

PDFメイクアップ Linux版 4.1.3.0

IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2023 Spring

IM-PDFCoordinator for Accel Platform

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 4.1.3.0

PDFメイクアップ Linux版 4.1.3.0

IM-PDFCoordinator FullPack for Accel Platform

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 4.1.3.0

PDFメイクアップ Linux版 4.1.3.0

IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2022 Winter

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 4.1.3.0

PDFメイクアップ Linux版 4.1.3.0

IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2022 Spring

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 4.1.0

PDFメイクアップ Linux版 4.1.0

IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2021 Winter

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 4.1.0

PDFメイクアップ Linux版 4.1.0

IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2021 Summer

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 4.1.0

IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2021 Spring

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 4.0.6

[IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2020 Winter](#)

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 4.0.6

[IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2020 Summer](#)

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 4.0.3.6

[IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2020 Spring](#)

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 4.0.3.6

[IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2019 Summer](#)

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版
4.0.1.0.7

[IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2019 Spring](#)

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版
4.0.1.0.3

[IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2018 Winter](#)

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 4.0.0.11

[IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2018 Spring](#)

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 3.8.6.2

[IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2017 Winter](#)

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 3.8.6.1

[IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2017 Summer](#)

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 3.8.6

[IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2017 Spring](#)

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 3.8.2

[IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2016 Winter](#)

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 3.7.1

[IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2016 Spring](#)

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 3.7.1

IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2015 Spring

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 3.4.1

IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2014 Winter

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 3.3.0

IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2014 Spring

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 3.0.0.3

IM-PDFCoordinator for Accel Platform 2012 Winter

連携エンジン

PDFメイクアップ Windows版 2.8.1

フォント設定

フォントの登録

IPAフォント 以外のフォントを使用する場合の、フォントの登録手順を示します。

1. ターミナルを起動し、`< %PDFMAKEUP_HOME% /etc/fonts >`へ移動します。
`< %PDFMAKEUP_HOME% >`を`< /usr/local/pmu >`として説明します。

```
$ cd /usr/local/pmu/etc/fonts
```

2. フォントファイルを`< %PDFMAKEUP_HOME% /etc/fonts/ >`にコピーします。

```
$ cp /tmp/xxxx.ttf /usr/local/pmu/etc/fonts/xxx.ttf
```

3. 次のコマンドを実行します。

```
$ ./mkpfont.sh
```

4. `< %PDFMAKEUP_HOME% /etc/fonts/pfont.txt >`に、追加されたフォントファイルの記載があることを確認します。
5. 動作確認を実施し、出力した帳票に差し替えたフォントが適用されていることを確認します。

注意

`< %PDFMAKEUP_HOME% /etc/fonts/pfont.txt >`に登録したフォントのみ使用可能です。

登録外のフォントは、`< %PDFMAKEUP_HOME% /etc/prop/jp.sjis/locale.prop >`の設定に従い置換します。

注意

コマンド引数の文字列、コマンド引数で指定するファイルの文字コードは UTF-8 にしてください。

また、出力されるログファイルは全て UTF-8 です。

! 注意

< %PDFMAKEUP_HOME% /etc/prop/jp.sjis/locale.prop >の< wfonthz >に設定されたフォントは、< %PDFMAKEUP_HOME% /etc/fonts/pfont.txt >へ登録してください。

登録していない場合、エラーが発生します。

i コラム

デフォルトのIPAゴシックでは、誤読しやすい文字との判別をしやすいするため、数字の「0(ゼロ)」に斜線が入ったデザインを使用しています。

数字の「0(ゼロ)」に斜線が入っていないデザインのフォントを使用する場合は、「IPAフォントの切替方法」を参照しフォントを変更してください。

IPAフォントの切替方法

IM-PDFCoordinator for Accel Platform Linux 版でのデフォルトのフォントは、IPAフォントです。

デフォルトのIPAゴシックでは、数字の「0(ゼロ)」に斜線が入っています。

斜線が入っていない旧版のIPAゴシックへの切替手順について示します。

1. ターミナルを起動し、< %PDFMAKEUP_HOME% /etc/fonts >へ移動します。
< %PDFMAKEUP_HOME% >を< /usr/local/pmu >として説明します。

```
$ cd /usr/local/pmu/etc/fonts
```

2. 既存のIPAゴシックのフォントファイル< %PDFMAKEUP_HOME% /etc/fonts/ipag.ttf >を削除します。

```
$ rm /usr/local/pmu/etc/fonts/ipag.ttf
```

3. 旧版のIPAゴシックのフォントファイル< %PDFMAKEUP_HOME% /etc/fonts/ipag_old/ipag.otf >を、< %PDFMAKEUP_HOME% /etc/fonts >にコピーします。

```
$ cp /usr/local/pmu/etc/fonts/ipag_old/ipag.otf /usr/local/pmu/etc/fonts/ipag.otf
```

4. 次のコマンドを実行します。

```
$ ./mkpfont.sh
```

5. < %PDFMAKEUP_HOME% /etc/fonts/pfont.txt >に、旧版のIPAゴシックのフォントファイル< ipag.otf >の記載があることを確認します。
6. 動作確認を実施し、出力した帳票に差し替えたフォントが適用されていることを確認します。

i コラム

上記、差し替えた旧版のフォントファイルを差し戻す場合の手順は、次の通りです。

1. ターミナルを起動し、`< %PDFMAKEUP_HOME% /etc/fonts >`へ移動します。
`< %PDFMAKEUP_HOME% >`を`< /usr/local/pmu >`として説明します。

```
$ cd /usr/local/pmu/etc/fonts
```

2. 旧版のIPAゴシックのフォントファイル`< %PDFMAKEUP_HOME% /etc/fonts/ipag.otf >`を削除します。

```
$ rm /usr/local/pmu/etc/fonts/ipag.otf
```

3. 新版のIPAゴシックのフォントファイル`< %PDFMAKEUP_HOME% /etc/fonts/ipag_new/ipag.ttf >`を、`< %PDFMAKEUP_HOME% /etc/fonts >`にコピーします。

```
$ cp /usr/local/pmu/etc/fonts/ipag_new/ipag.ttf  
/usr/local/pmu/etc/fonts/ipag.ttf
```

4. 次のコマンドを実行します。

```
$ ./mkpfont.sh
```

5. `< %PDFMAKEUP_HOME% /etc/fonts/pfont.txt >`に、新版のIPAゴシックのフォントファイル`< ipag.ttf >`の記載があることを確認します。
6. 動作確認を実施し、出力した帳票に差し替えたフォントが適用されていることを確認します。